

海の環境を取り戻そう！有明海再生への挑戦

有明海の環境を守るための取り組みについてご紹介します。

4月17日と18日の2日間、島原半島南部漁業協同組合の漁業者11名とB&G海洋センターの職員2名が、有明海再生加速化事業の一環として「アマモの移植」を行いました。アマモって何？と思う方もいるかもしれませんが、アマモは海の中で、二酸化炭素を吸収し酸素を生み出す役割を持つ植物です。昔は口之津港や早崎半島の沿岸にたくさん生えていましたが、最近では環境の変化でその数が減ってしまいました。



アマモを採取



アマモを採取

◆アマモって何がすごい？

アマモにはたくさんの役割があります。

<例えば>

- ・海の中や土壤に酸素を供給する。
- ・魚たちの稚魚が隠れる場所になる。
- ・生態系を豊かにして、水産資源の回復にもつながる。



アマモの様子

つまり、アマモが増えることで海が元気になり、魚たちが住みやすくなる！

今年度は口之津港沿岸の 250 m²の区域にアマモを移植しました。これからは毎年少しずつ移植範囲を広げ、昔のようなアマモ場を復活させることを目指しています。



アマモの移植の様子

◆なぜ有明海再生が必要なのか？

有明海は、地球温暖化や環境の変化により水質が悪化し、魚が住みにくくなっていると言われてい
ます。このままでは、貴重な自然環境や水産資源が無くなるのが心配されています。そこで、海
底の質を良くするための「海底耕うん」や「カキ殻散布」なども行い、海の環境改善に取り組んで
います。

こうした活動は、漁業者や地域の方々の協力があってこそ進められるものです。